体育学校ニュース　8.10.16



２０２６年度
全日本スポーツ射撃競技選手権大会
（１０m,ＡＲ・ＡＰ／５０mＲ）（男女混合オリパラ共生大会）

令和８年１０月２日（金）から４日（日）までの間、能勢町ライフル射撃場（大阪府能勢郡）において１０m種目及び５０m種目の２０２６年度全日本スポーツ射撃競技選手権大会（男女混合オリパラ共生大会）が開催され、ライフル種目に**小笠綾乃**（おがさあや）１等陸尉以下９名が、ピストル種目に**山田聡子**（やまださとこ）２等陸尉以下５名が出場した。

初日は１０mエアライフル、２日目は５０mライフル３姿勢及び１０mエアピストル、最終日は５０mライフル伏射及び１０mエアライフル、エアピストルミックスチームが行われた。



５０m ライフル種目 **初優勝**

アジア競技大会の１０mエアライフルミックス（男女混合）で銅メダルを獲得した**花川直樹**（はなかわなおき）３等陸尉は、２日目の５０mライフル３姿勢において集中しかつ安定した射撃を見せた。特に伏射２シリーズでは１００点をマークし、５０mライフル種目としての初優勝を果たした。大会後、花川３尉は「今回初めて全日本の５０mライフル種目で優勝することができた。天候が難しい試合ではあったが適応できた点は良かった。自分としてはまだベストパフォーマンスは出し切れてないので、世界選手権でのメダル獲得に向けて調子を上げていきたい。」と語った。

特体生として **初優勝**

遠藤雅也（えんどうまさや）２等陸曹は、初日１０mエアライフルにおいて、初弾から６０発の最後まで安定した射撃を見せ、体育学校に所属以来初の優勝を手にした。大会後、遠藤２曹は「アジア大会で実力を出し切れず悔しい思いをしたため、雪辱を果たす思いで臨んだ大会だった。大会中は前回感じた課題を意識して撃ち切ることができ、それが優勝に繋がったと感じる。体育学校で練習してきた成果を結果として証明できて嬉しく思う。この勢いのまま世界選手権のメダル獲得を目指して全力で戦いたい。」と語った。





２年ぶり３度目の **優勝**

アジア競技大会の男子１０mエアピストル団体で銅メダルを獲得した**岩佐正貴**（いわさまさき）３等陸曹は、２日目の１０mエアピストルにおいて、１・２シリーズを好調に点を重ねたが、３・４シリーズでは失速しコーチのところへ下がりアドバイスをもらうシーンがあった。後半５・６シリーズで持ち直し、結果２位と５ポイントの差をつけて２年ぶり３回目の優勝となった。大会後、岩佐３曹は「アジア競技大会で良い感覚を持って終えることができ、その感覚をここでも試みたいと思った。苦しい場面もあったが、気持ちを切り替えて１０点を続けて出すことができ、２年ぶりの優勝を果たすことができた。次の大会に向けて、さらに準備をしていく。応援ありがとうございました。」と語った。

総　合　成　績（メダル以上）

１０mエアライフル				
男子	遠藤 雅也	２曹陸曹	１位	
団体	A	島田 敦	２等陸尉	２位
		花川 直樹	３等陸尉	
		遠藤 雅也	２等陸曹	

５０mライフル三姿勢			
男子	花川 直樹	３等陸尉	１位
	小関 賢登	陸士長	３位
団体	A	島田 敦	２等陸尉	２位
		花川 直樹	３等陸尉	
		遠藤 雅也	２等陸曹	
	C	以西 鷹一郎	３等陸曹	３位
		小関 賢登	陸士長	
		清水 彰人	陸士長	

５０mライフル伏射			
女子	小笠 綾乃	１等陸尉	２位

１０mエアライフルミックスチーム			
A	花川 直樹	３等陸尉	２位
	遠藤 雅也	２等陸曹	
B	島田 敦	２等陸尉	３位
	鈴木 志佳	２等陸曹	

●１０mエアライフル
空気ライフルを使用し１０m先の的を立射で６０発撃つ

●５０mライフル３姿勢
小口径ライフルで５０mの的を膝射・伏射・立射の３姿勢で行う。各姿勢２０発撃つ

●５０mライフル伏射
小口径ライフルで５０m先の的を伏射で６０発撃つ

１０mエアピストル			
男子	岩佐 正貴	３等陸曹	１位
女子	山田 聡子	２等陸尉	２位
	中川 花論	３等陸曹	３位
団体	山田 聡子	２等陸尉	
	岩佐 正貴	３等陸曹	１位
	中川 花論	３等陸曹	

１０mエアピストルミックスチーム			
A	岩佐 正貴	３等陸曹	１位
	中川 花論	３等陸曹	

●１０mエアピストル
空気ピストルを使用し、１０m先の的を立射で６０発撃つ
ミックスチーム競技は国際射撃連盟の規定改定に伴い、今年度から新ルールを適用し、今大会が初の公式試合となる

表彰及び表彰後の様子



自衛隊体育学校
PHYSICAL TRAINING SCHOOL

公式ＨＰ